

令和2年度事業報告

I 本部

本年度、理事長が交代し新たな体制のもとで、将来に向かっての第一歩を踏み出した。また、監事であった山口氏が理事となり、新たに大坪氏を監事に迎えた。その結果、理事の現員は9名となった。

「社会福祉充実計画」については、本年度を持って終了する事を決定した。

1 評議員会の開催

回	開催年月日	審議内容
定時 評議 員会	令和2年6月26日 (書面決議)	第1号議案 平成30年度事業報告について
		第2号議案 平成30年度決算について
臨時 評議 員会	令和2年11月23日 (中止)	第1号議案 理事1名の解任について
臨時 評議 員会	令和2年12月4日 (不成立)	第3号議案 福島和夫理事の理事解任について
		第4号議案 理事の選任について
		第5号議案 監事の選任について
臨時 評議 員会	令和3年3月15日	第3号議案 令和元年度決算の(再)承認について
		第4号議案 理事の選任について
		第5号議案 監事の選任について
		第5号議案 社会福祉充実計画の変更(終了)について

2 理事会の開催

回	開催年月日	審議内容
1	令和2年6月16日	第1号議案 平成31年度事業報告について
		第2号議案 平成31年度決算について
		第3号議案 令和2年度定時評議委員会の開催について
		第4号議案 就業規則の改正について
		第5号議案 給与規則の改正について
		第6号議案 組織規程の改正について
		第7号議案 育児休業または介護休業等に関する規則の改正について
臨時 理事 会	令和2年10月24日 (不成立)	令和2年10月28日に実施される社会福祉法人指導監査への対応について

臨時 理事会	令和2年11月 16日	第1号議案 理事長の解職について
		第2号議案 理事会を招集する理事の定めについて
		第3号議案 令和2年度第1回臨時評議委員会の開催について
3	令和3年1月8 日	議 題 1 法人指導監査結果について
		議 題 2 今後の法人運営について
		議 題 3 今後の財政運営について
4	令和3年3月25 日	第8号議案 重要な役割を担う職員の範囲について
		第9号議案 令和元年度決算の(再)承認について
		第10号議案 令和2年度臨時評議員会の提出する理事及び監事候補について
		第11号議案 社会福祉充実計画(ご飯塾の)変更(終了)について
		第12号議案 臨時評議員会の開催について
		第13号議案 令和3年度事業計画について
		第14号議案 令和3年度拠点区分当初予算の承認について
		第15号議案 組織規程の一部改正について
		第16号議案 給与規則の一部改正について

3 規則等の改正

- イ 就業規則の改正
- ロ 給与規則の改正
- ハ 組織規程の改正
- ニ 育児休業または介護休業等に関する規則の改正

Ⅱ 聖マリア保育園

ア こどもの処遇

1 園児数 定員 127名 (月平均 131名)

■本年度保育実施児数

クラス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	143
1歳児	22	22	22	22	21	22	22	22	22	22	22	22	263
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳児	24	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	296
4歳児	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	289
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
計	130	131	131	131	130	131	131	131	131	130	130	130	1,567

2 開園時間、休園日

- ・開園時間は、午前7時から午後7時まで
- ・休園日は日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

3 保 育

課題

- ① 一人ひとりの子どもの発達に寄り添い、豊かな感性や意欲を育み、成長するための素地をつくる。
- ② 子どもとの愛着関係を密にし、スキンシップや言葉かけを大切にし、子どもを尊重した保育の実践を行う。
- ③ 保育環境を整え、ヒヤリハット等事故防止に努める。
- ④ 保護者との信頼関係を築き、子どもの成長をともに寄り添い共有していく。

・これまでの大人主導型の一斉保育の見直しを行った。(1) 子どもへの言葉かけが、保育士の都合や一方的な伝え方ではなく「対話的」になっているか。(2) 子どもの「主体的な遊び」の尊重が出来ているかを、保育日誌や個人日誌、クラスの「振り返り」時に確認した。

・これまで、ヒヤリハットに関しては、クラスで共有し園長に報告書を提出していた。しかし、保育園全体の共有にならないことから、保健師が中心になり改善方法を話し合い、報告書が提出されるとヒヤリハットファイル(共

有)に入れ、全体で閲覧できるよう見直しを行った。ヒヤリハットについては、不定期で話し合いを行ったが、事故を未然に防ぐような解決策の立案までは十分に出来ず次年度の課題となった。

- ・4月～6月までは登園自粛が入り、エッセンシャルワーカーの家庭中心の登園となった。登園自粛をしている家庭については、職員が交代で電話連絡をして子どもの様子や家庭状況等を確認した。

- ・7月からは自粛緩和されたが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から大きな行事(運動発表会、親子ふれあいのつどい、クリスマスお祝い会、生活発表会)は中止を余儀なくされた。保護者にとって、園での生活が見えづらく、不安につながることからHPを使用して①一日の様子を伝える掲示②手洗いの歌や、絵本読み聞かせや、折り紙等、③調理部門は、おやつレシピとともに実際に作る様子の動画配信を行った。

- ・外部からの接触を減らすため、保護者の送迎はなるべく保育室に入らず、15分以内に園から出るよう協力依頼をした。

- ・懇談会(保護者会)は、前期は中止。後期はZoomオンラインで行った。参加率は50～80%程度であった。乳児のZoom懇談会で、初めて顔を合わせる保護者が多くいた。

- ・コロナウイルス感染予防対策について、当初は模索状態であった。定期的に情報収集を行い、園内消毒については、1時間に1度。玄関への消毒液の設置、登園時の検温等を行った。また、食事中に使用するテーブルにパーティションの設置を行った。

- ・園長会、保健所、区役所との連絡を頻繁にとり、情報収集や情報交換を行った。情報に基づき、実施と改善を行った。

4 保 健

- ・「元気で明るい子」を目指し、一人ひとりの子どもに応じて健康と安全に留意するとともに、全体の子どもの健康を保持し、安全を守った。

- ・病気の早期発見、感染予防に努めた。

- ・ヒヤリハット対策からハード面の安全対策をはかり、事故防止に努めた。

- ・アルコール、次亜塩素酸による園舎内消毒を毎日行っている。

- ・コロナウイルス感染症予防対策のため37.5℃の発熱でお迎えの依頼。解熱後24時間の間は、登園自粛の願いを徹底した。一部の保護者を除き、協力的であった。マリア会からは、上記の対応の継続を求める声もあった。

- ・身体的、精神的に快くすごせるよう環境を整備に努めた。

■保育中の傷病件数（月別）

・ちゅうりっぷ組とゆり組の件数が多くなっている。ただし、本年度は自粛期間もあり傷病の件数自体が少なかった（昨年度は33件）。

クラス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
つぼみ				1						1			2
ちゅう				1		1	2	2					6
ばら											2		2
すみれ			1		1		1			1			4
ゆり				1				2	1	1	1	1	7
合計	0	0	1	3	1	1	3	4	1	3	3	1	21

■保育中の傷病件数（場所別）

・園での傷病が多い。

クラス	園内	園庭	園外	不明	総計
つぼみ	2				2
ちゅう	4		1	1	6
ばら		1		1	2
すみれ	2	1		1	4
ゆり	1	5		1	7
合計	9	7	1	4	21

■保育中の異常児数（発熱・発疹等）

・つぼみ組が全体の24%、もも組が27%と乳児が多い。

クラス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
つぼみ			3	4	5	4	7	5	5	2		3	38
もも			7	6	4	4	9	2	4		2	5	43
ちゅう	3		3	6	2	2		2	1	2		3	24
ばら	1	1	3	1		1	1	1	5	1	5	4	24
すみれ					1	2		1	4		4	2	14
ゆり	1		2			2	1	2	1	2	2	3	16
総計	5	1	18	17	12	15	18	13	20	7	13	20	159

5 災害訓練等

・防災訓練(火災、地震、洪水想定)は、実施総合訓練と防犯訓練を実地した。

訓練名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
火災	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	10
地震				○	○	○			○	○	○	○	7
洪水								○					1
防犯				○			○		○		○		4

- ※ ・消防署と連携し、防災訓練を消防士にアドバイスを受け、通報訓練、初期消火訓練を行った。
・災害伝言ダイヤル171を利用した防災訓練を行った。

6 食育

- ・健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うための活動を行った。
- ・旬のものを取り入れ、良質で安全な食材で調理した。
- ・業者と協力し、こどもたちの前で「魚の解体ショー」を行った。実際にプロが色々な魚を捌く姿を見学し、魚の種類や部位についても説明をしてもらった。
- ・アレルギーによる食材制限のある園児の給食提供は、園と保護者が話し合い、個別対応をした。
- ・日本の伝統料理が感じられる行事食の提供に努めた。

7 行事

- ・四季、伝統行事を含め、園児を対象とする行事を企画し、実行した。
- ・地域老人施設(介護老人保健施設エーデルワイス)訪問に加え、ふれあい館でのお年寄りとの交流を予定したが、コロナウイルス感染予防対策のため実施できなかった。

8 環境整備

- ・ロビーと廊下間に、鍵付きのドアを設置した。
- ・みんなのトイレの配管工事を行った。
- ・草取りは、職員が行った。(以前は業者に委託していた)

9 特別保育事業

- ・0歳児保育特別対策事業、延長保育、障害児保育事業、アレルギー児に対する代替食を実施した。

10 コロナウイルス対策

- ・3月から2時間おきに、緊急事態宣言中は1時間おきに園内の消毒を実施した。(保育室、事務所、手すり、スイッチ、ドアノブ、電話機、パソコン等)
- ・玄関に来園者向けの消毒液を置いた。
- ・園児が外出先から帰園した際は、手の消毒を行った。
- ・各クラス空気清浄機をコロナウイルスに対応した機器に変更した。
- ・園児のテーブルにパーテーションを設置した。
- ・出勤時に職員の検温を実施した。37.5℃以上の場合は、24時間出勤自粛禁止とした。

イ 職員

1 職員数

■職員の状況

職名	令和2年4月1日			年度内退職			年度内採用			令和3年4月1日		
	正規	非常勤	時間契約	正規	非常勤	時間契約	正規	非常勤	時間契約	正規	非常勤	時間契約
園長	1									1		
保育士	22	2		2			1			21	2	
保育補助	5	3	3		1	1				5	2	2
保健師・看護師	2									2		
調理員	7		1	2					1	5		2
事務員	2									2		
用務員		1	1								1	1
合計	50名			6名			2名			46名		

常勤は6時間以上の勤務時間。非常勤は6時間未満の勤務時間。時間契約は、時間給職員。(令和2年4月1日より、定義変更)

2 会議等

- ・全体会議を毎月1回行った。(4月5月は中止)
- ・主任会議を毎月1回行った。

- ・献立会議、給食室会議を毎月行った。メニュー検討会を行った。
- ・乳児カリキュラム会議12回、幼児カリキュラム会議12回行った。
- ・早番、延長ミーティング、ケース会議を行った。
- ・コロナウイルス対策会議を行った。

3 職員研修

- ・自分達が学びたいと思う研修に1人1回は行くという目標をたてた。しかし、研修参加の申し込みをしたが、コロナウイルスため中止となり目標達成は出来なかった。
- ・園内1日研修を行い、職員でカリキュラムについて、集団あそび等について職員で共有した。

■研修参加回数

研修名	参加回数	中止
保育に関する研修 (実技、発達、保護者対応)	18	14
運営関係	3	0
調理関係	2	1
保健、衛生研修 (アレルギー含む)	8	4

4 処遇改善・福利厚生

- ・就業規則の改正
- ・給与規則の改正
- ・組織規程の改正
- ・育児休業または介護休業等に関する規則の改正
- ・独立行政法人福祉医療機構の退職手当金制度に加入している。
- ・東京都社会福祉協議会の退職共済制度に加入している。
- ・ドリーム年金拠出型企業年金保険に加入している。

ウ. 保護者の支援（利用者支援状況）

- ・園だより・献立表月1回、クラスだよりを年4回発行した。
- ・保育、保健、調理と栄養についての家庭相談及び講座、保育の見学、保育園入所相談を行った。(コロナウイルス感染予防のため規模を縮小した)
- ・育児困難家庭への支援については家庭支援センター、保健センター、児童相談所など連絡を取り合いながらより良い援助ができるよう図った。

エ. 地域への支援

- ・地域支援室での地域活動は、本年度はお休みとした。

オ. 保育園の年間主な行事

月	行事名	令和2年度
4月	入園のつどい 進級式	中止
	卒園生のつどい	中止
5月	こどもの日お祝い会	中止
	親子ふれあいのつどい マリア会総会（父母会）	中止（手紙により実施）
	こころの花束	職員のお祈りのみ
6月	園児耳鼻科健診	
	園児歯科検診	
7月	じゃがいも堀り	中止
	榛名園外宿保育（年長児）	お楽しみ会に変更
8月	夏祭り花火大会	中止
	かえるの会キャンプ（卒園児宿泊）	中止
9月	引き渡し訓練	
	運動会	5歳児のみ（他はZoom録画）
10月	共同募金（年長児）	
11月	七五三お祝い会	
	魚の解体ショー	5歳児のみ
12月	教会見学（年長児：神田教会）	歩いての移動
	クリスマスお祝い会	中止（HPにて劇遊び）
1月	子ども新年会	
	子ども劇場（年長児）	中止
	もちつき大会（平日保育の中で実施）	
2月	生活発表会	中止（HPにて録画放送）
3月	ひなまつりお祝い会	
	卒園式	縮小して実施

※毎月誕生会は実施

Ⅲ 社会福祉充実計画

聖マリア塾こども食事会(以下「ごはん塾」と略す。)の開催状況

- ・開催日 平成30年4月11日(水)より毎週水曜日開催。
- ・開催時間 いずれも午後5時～7時
- ・実施状況 通常開催 22回
お弁当配達 19回

実施内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
通常	3	2		5	4	3	1			4	22
弁当配達	1	2	4			1	3	4	4		19
総計	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	41

- ・登録児童数 4名

ごはん塾の運営にご協力を頂いている方々

- ・スタッフ 5名
- ・保育園職員 3名

保育園業務への影響及び事故等の有無

- ・ごはん塾開催による保育園児との事故や保育園施設に対する事故・損傷などのトラブルは生じなかった。

児童及び関係者の安全対策

- ・参加児童の帰路については、毎回、当該児童の自宅玄関まで、通常2名、やむを得ない場合でも1名のスタッフが必ず付き添って送り届け、安全を確保した。
- ・不審者対策として防犯ライトを携行したほか、ランドセルを自宅に置いて利用する子、また学童からまっすぐにごはん塾を利用する子どもも防犯笛付きの反転名札(裏返すと名前が見えなくなる)を着用することなどを徹底した。
- ・ごはん塾の活動及び往復に伴う児童や講師・スタッフなどの従事者の予期しない傷害や当法人の損害賠償責任を補償するため、東京都社会福祉協議会が取り扱う行事保険(当日参加対応型)に加入した。

保健衛生

- ・登録衛生検査所有研(有馬研究所)と契約して、スタッフ等の赤痢菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌 0-157 の検査を開始した。(陽性反応はこれまでにない。)
- ・コロナウイルス感染予防対策のため、園で開催できないときは、お弁当配付を行った。

反省と改善

- ・1か月に1度程度、スタッフが集まり問題点、改善点を話し合った。

フードドライブの物資協力

- ・板橋区社会福祉協議会が実施しているフードドライブの取り組みの中で、ごはん塾に対して、配給された。

社会福祉充実計画の終了

- ・本年度をもって社会福祉充実計画の終了を決定した。